

# 令和6年度事業計画書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

森林は多面的機能を有しており、その地域に様々な恩恵をもたらしている。それらの機能を適切に発揮させていくためには、将来にわたり、森林を適切に整備及び保全していかなければならない。しかしながら、循環型林業を進める現場では、人手不足が深刻化しており、事業の実施に苦慮している現状である。

令和6年度事業は、新たに作成した第5期中期事業計画（令和6年～8年）に基づき実施する。前回の中期計画（令和3年度～令和5年度）では、労働環境の改善を通じた定着率の向上や事業体が企画提案する担い手定着化への取組みを支援し、担い手の育成確保に取り組んだ。今回の中期計画は、従来の就労条件整備事業を拡充し、原木増産に伴い、不足している森林整備技能者の育成確保を支援することにより、健全な森林の造成に努められるよう「森林整備技能者雇用支援事業」を新設した。

今年度の事業予算は総額40,000千円で実施する事業は次のとおりである。

## 1. 人材育成

### (1) 資格取得助成事業（予算700千円）

県内の林業事業体に雇用される現場技能者に対し、木材生産等の林業に必要な資格を計画的に取得させる場合、その林業事業体を対象に必要な経費を助成する。

## 2. 労働安全

### (1) 労働安全管理事業（予算17,500千円）

#### ①労働安全研修（予算600千円）

県内の林業事業体等に雇用される現場技能者に対し、労働災害の予防を目的とした現場作業を安全に遂行するための手順の習得や能力向上等の研修会を開催する林業事業体等を対象に必要な経費を助成する。

#### ②労働安全巡回指導（予算400千円）

県内の林業事業体等を対象に労働安全衛生に関する巡回指導を実施するために必要な経費を助成する。

#### ③労働安全対策（予算16,500千円）

##### ・安全装備品助成（予算11,000千円）

県内の林業事業体に雇用される現場技能者に対し、労働災害の予防を目的とした林業労働のための安全装備品を支給する林業事業体を対象に必要な経費を助成する。

##### ・蜂アレルギー対策支援事業（予算5,500千円）

県内の林業事業体に雇用される現場技能者に対し、労働災害の予防を目的としたハチアレルギー対策（ハチ毒抗体検査及びアナフィラキシー補助治療剤処方）に取り組む林業事業体を対象に必要な経費を助成する。

### 3. 雇用改善

#### (1) 森林整備技能者雇用支援事業（予算 20,800 千円）

県内の林業事業体に雇用される森林整備技能者の育成確保をめざし、社会保険や退職金共済等に加入した場合、その林業事業体を対象に事業主負担相当額を助成する。

#### (2) リーダー育成支援事業（予算 1,000 千円）

県内の林業事業体に雇用される現場技能者の資質向上につながる事業に対して、必要な経費を助成する。現場技能者のうち、しまね林業士等の資格取得者に対し、特別に支給する手当の一部を助成する。